



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 三共生興株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 8018 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木 秀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 岡田 登
 社長室統括マネージャー 下川 浩一 TEL(06)6268-5188
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21年3月期第1四半期	9,572 —	61 —	245 —	40 —
20年3月期第1四半期	10,662 11.9	△124 —	3 △96.8	△821 —

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	0 84	— —
20年3月期第1四半期	△17 13	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	64,836	28,027	42.7	575 81
20年3月期	64,205	27,768	42.7	571 31

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 27,692百万円 20年3月期 27,414百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	— —	— —	— —	12 50	12 50
21年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
21年3月期 (予想)	— —	— —	— —	12 50	12 50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間間は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第2四半期連結累計期間	21,000 —	△150 —	△140 —	△500 —	△10 40
通 期	45,600 △6.5	1,220 —	1,150 —	200 —	4 16

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
 [(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更： 有
- ② ①以外の変更： 無
- [(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | |
|----------------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 21年3月期第1四半期 | 60,000,000株 |
| | 20年3月期 | 60,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年3月期第1四半期 | 11,906,366株 |
| | 20年3月期 | 12,013,638株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 21年3月期第1四半期 | 48,093,711株 |
| | 20年3月期第1四半期 | 47,986,814株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって上記予想数値と異なる結果となる場合があります。

【参考】個別業績の概要

1. 平成 21 年 3 月期第 1 四半期の個別業績 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(1) 個別経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 1 四半期	6,266	—	348	—	664	—	692	—
20 年 3 月期第 1 四半期	6,511	2.8	310	△12.1	588	4.4	△3,483	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21 年 3 月期第 1 四半期	14 40	— —
20 年 3 月期第 1 四半期	△72 59	— —

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21 年 3 月期第 1 四半期	52,412	29,421	56.1	611 76
20 年 3 月期	51,383	28,391	55.3	591 66

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 29,421百万円 20年3月期 28,391百万円

2. 平成 21 年 3 月期の個別業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期個別累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第 2 四半期個別累計期間	14,100 —	550 —	800 —	450 —	9 36
通 期	23,200△26.4	1,500△19.5	1,850△10.1	1,000 —	20 79

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当事業年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって上記予想数値と異なる結果となる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界経済の減速懸念に加え、原油価格や原材料価格の高騰が企業収益を圧迫し始めるなど、景気回復は次第に減速感が強まり足踏み状態となってまいりました。

当社グループを取り巻く環境におきましてもガソリンを始め食料品などの身近な商品の相次ぐ値上により、インフレ懸念に対する強い警戒感から生活防衛意識の高まりを見せ、衣料品、特に高額商品の売れ行きが鈍化するなど、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループは、収益構造の基盤強化を図るため、迅速な情報収集とマーケット分析の強化により、不採算店舗の見直しや全体的な諸経費の削減を図るなど高効率経営の実践に鋭意取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期の連結業績につきましては、売上高は前年同期比10.2%減の9,572百万円となりましたが、営業利益は61百万円、経常利益は245百万円、四半期純利益は40百万円となり、前年同期と比較いたしまして利益面では改善となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りです。

ファッション関連事業

「ダックス」「レオナル」などのファッションブランド商品の国内販売におきましては、昨年来の在庫内容の見直しにより、適正在庫管理の徹底による在庫回転率の向上に努めるなど、改善の途上にはあるものの、婦人服の高額商品の店頭販売の不振等もあり、当第1四半期は売上、利益ともに苦戦いたしました。一方、「ダックス」の香港を含む中国での販売におきましては、多店舗展開も功を奏し順調に推移いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比20.1%減の4,293百万円、営業損失は14百万円となりました。

繊維関連事業

本年10月に実施を予定している会社分割による当事業の新会社設立を控え、厳しい環境にあるアパレルファッション業界において収益構造の確立を図るべく、得意先の選別、取扱いアイテムの見直し、企画提案力の強化に取り組んでまいりました。しかしながら、消費者心理の予想以上の冷え込みや天候不順等により、取引先の主力販売先である百貨店での店頭販売が低迷するなど、当第1四半期も厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比2.0%減の2,852百万円、営業損失は58百万円となりました。

生活関連事業

リビング分野におきましては、従来の「ダックス」「イヴ ドローム」に加え、新規ブランド「ニナ リッチ」「DKNY」の販売をスタートいたしました。一方、「ダックス」のタオルなどのギフト商品は健闘いたしましたものの、新規出店の経費増、高額商品の売行き不振等もあり苦戦いたしました。一方、ホームファッション分野での寝装品、パジャマ、雑貨等のOEMによる製造・販売や百貨店を中心とした「ロフテー」の高級枕の販売は、比較的好調に推移いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比1.1%増の2,167百万円、営業利益は前年同期比19.3%減の58百万円となりました。

不動産賃貸事業

東京・大阪・神戸等に立地する当社保有の賃貸用ビルの貸室料収入におきましては、計画どおり安定した収益を確保いたしております。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比 5.0% 増の 613 百万円、営業利益は前年同期比 16.3% 増の 270 百万円となりました。

その他の事業

当事業の物流倉庫業、ビルメンテナンス業等におきましては、売上高は前年同期比 21.2% 減の 323 百万円、営業損失は 17 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の資産合計は 64,836 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 631 百万円の増加となりました。これは株式市場における日経平均株価が前連結会計年度末に比べ若干回復したことで、投資有価証券が時価評価などにより 1,530 百万円増加したこと、また、当第 1 四半期の売上高が前第 4 四半期に比して減少したため売上債権が前連結会計年度末に比べ減少したことなどが主なものであります。

負債合計は 36,808 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 372 百万円増加しました。これは長期及び短期の借入金合計額が 1,093 百万円増加した一方で、未払費用及び返品調整引当金の計上額が減少したことなどが主なものであります。

純資産合計は 28,027 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 259 百万円増加しました。これはその他有価証券評価差額金が 914 百万円増加しましたが、配当金の支払が 599 百万円あったことで利益剰余金が減少したことなどが主なものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 5 月 16 日の決算発表時に公表いたしました、平成 21 年 3 月期の連結業績予想（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）を前記（1 ページに記載）のとおり修正しております。

今回の連結業績予想の修正につきましては、景気後退懸念と諸物価の高騰により、消費者心理の悪化に伴う買い控えが顕著となり、ファッション関連事業及び生活関連事業における百貨店を中心とする婦人服やリビング分野での高額商品の売上予想を見直し、売上高、営業利益及び経常利益並びに第 2 四半期連結累計期間の当期純利益を下方修正するものであります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

主として、当第 1 四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率を使用して一般債権の貸倒見積高を算定する方法によっております。

㊦ 棚卸資産の評価方法

当第 1 四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎とした、継続記録による帳簿棚卸高により算定しております。

また、当第 1 四半期連結会計期間末における棚卸資産の評価に関しては、収益性の低下が明らかなものについては正味売却価額を見積り、棚卸資産より一括して控除する方法によっております。

㊧ 退職給付費用の算定方法

期首に算定した年間の退職給付費用の額を期間按分する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号 平成 19 年 3 月 14 日) 及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号 平成 19 年 3 月 14 日) を当第 1 四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日) を当第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

③ 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第 13 号 改正 平成 19 年 3 月 30 日) 及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 16 号 改正 平成 19 年 3 月 30 日) が平成 20 年 4 月 1 日以降開始する連結会計年度に係る四半期財務諸表から適用できることになったことに伴い、当第 1 四半期連結会計期間から同会計基準及び同会計基準の適用指針を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

④ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第 18 号 平成 18 年 5 月 17 日) を当第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成 20 年 6 月 30 日)		前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金	5,105		4,902	
2 受取手形及び売掛金	8,044		9,169	
3 商品	5,552		5,199	
4 製品	340		256	
5 原材料	316		269	
6 仕掛品	23		40	
7 その他	544		589	
流動資産合計	19,927	30.7	20,428	31.8
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物及び構築物	11,020		11,139	
(2) 土地	3,988		3,988	
(3) その他	1,124	16,133	1,169	16,298
2 無形固定資産				
(1) 商標権	5,946		6,130	
(2) その他	230	6,177	254	6,385
3 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	21,315		19,785	
(2) その他	1,283	22,598	1,307	21,093
固定資産合計		44,909		43,777
資産合計		64,836		64,205
		100.0		100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

科 目	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成 20 年 6 月 30 日)		前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 支払手形及び買掛金	5,998		6,353	
2 短期借入金	17,497		16,314	
3 1年以内返済長期借入金	359		359	
4 未払法人税等	99		230	
5 未払費用	827		1,217	
6 役員賞与引当金	—		41	
7 返品調整引当金	169		525	
8 事業整理損失引当金	64		126	
9 その他	655		576	
流動負債合計	25,670	39.6	25,745	40.1
II 固定負債				
1 長期借入金	1,636		1,726	
2 長期未払金	818		835	
3 繰延税金負債	7,045		6,447	
4 退職給付引当金	599		599	
5 負ののれん	196		224	
6 その他	841		858	
固定負債合計	11,138	17.2	10,691	16.7
負債合計	36,808	56.8	36,436	56.8
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	3,000	4.6	3,000	4.7
2 資本剰余金	6,165	9.5	6,174	9.6
3 利益剰余金	16,549	25.5	17,108	26.7
4 自己株式	△4,422	△6.8	△4,462	△7.0
株主資本合計	21,292	32.8	21,820	34.0
II 評価・換算差額等				
1 その他有価証券 評価差額金	8,784	13.6	7,870	12.2
2 繰延ヘッジ損益	15	△0.0	△14	△0.0
3 為替換算調整勘定	△2,399	△3.7	△2,261	△3.5
評価・換算差額等合計	6,400	9.9	5,594	8.7
III 少数株主持分	334	0.5	353	0.5
純資産合計	28,027	43.2	27,768	43.2
負債純資産合計	64,836	100.0	64,205	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

科 目	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
	金 額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高		9,572 100.0
II 売上原価		5,413 56.6
売上総利益		4,159 43.4
III 販売費及び一般管理費		
1 広告宣伝費	360	
2 従業員給料手当	695	
3 販売スタッフ費等	1,206	
4 退職給付費用	67	
5 その他	1,767	4,097 42.8
営業利益		61 0.6
IV 営業外収益		
1 受取利息	25	
2 受取配当金	197	
3 負ののれん償却額	39	
4 その他	101	363 3.8
V 営業外費用		
1 支払利息	114	
2 その他	65	179 1.8
経常利益		245 2.6
VI 特別利益		
1 貸倒引当金戻入額	1	1 0.0
税金等調整前 四半期純利益		246 2.6
法人税、住民税 及び事業税	159	
法人税等調整額	43	203 2.1
少数株主利益		3 0.1
四半期純利益		40 0.4

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)
	金 額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2 4 6
減価償却費	2 5 7
返品調整引当金の減少額	△ 3 5 6
受取利息及び配当金	△ 2 2 2
支払利息	1 1 4
売上債権の減少額	1, 1 1 5
棚卸資産の増加額	△ 4 7 8
仕入債務の減少額	△ 3 4 5
未払費用の減少額	△ 3 2 7
その他	△ 1 2 5
小 計	△ 1 2 2
利息及び配当金の受取額	2 2 3
利息の支払額	△ 1 0 8
法人税等の支払額	△ 2 9 4
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3 0 2
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1 3 2
その他	△ 1 0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1 4 3
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	1, 2 9 7
長期借入金の返済による支出	△ 9 0
配当金の支払額	△ 5 4 1
その他	3 0
財務活動によるキャッシュ・フロー	6 9 7
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4 8
V 現金及び現金同等物の増減額	2 0 2
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4, 9 0 2
VII 現金及び現金同等物の 四半期末残高	5, 1 0 5

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

当連結会計年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 1 四半期連結会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)

	ファッション 関連事業 (百万円)	織 維 関連事業 (百万円)	生 活 関連事業 (百万円)	不 動 産 賃貸事業 (百万円)	そ の 他 の 事 業 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又 は 全 社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対 する売上高	4,219	2,641	2,154	446	109	9,572		9,572
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	74	210	13	167	213	679	(679)	—
計	4,293	2,852	2,167	613	323	10,251	(679)	9,572
営業利益又は 営業損失(△)	△14	△58	58	270	△17	239	(178)	61

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 1 四半期連結会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)

該当事項はありません。

【参考資料】

(1) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	
	金 額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高		10,662 100.0
II 売上原価		6,206 58.2
売上総利益		4,456 41.8
III 販売費及び一般管理費		
1 広告宣伝費	539	
2 従業員給料手当	721	
3 販売スタッフ費等	1,211	
4 退職給付費用	103	
5 その他	2,004	4,580 43.0
営業損失(△)		△124 △1.2
IV 営業外収益		
1 受取利息	28	
2 受取配当金	202	
3 負ののれん償却額	28	
4 その他の営業外収益	73	331 3.1
V 営業外費用		
1 支払利息	105	
2 その他の営業外費用	97	203 1.9
経常利益		3 0.0
VI 特別利益		
1 貸倒引当金戻入	2	
2 その他の特別利益	0	3 0.0
VII 特別損失		
1 役員退職慰労金	863	863 8.1
税金等調整前 四半期純損失(△)		△856 △8.1
法人税、住民税 及び事業税	94	
法人税等調整額	△147	△52 △0.5
少数株主利益		17 0.1
四半期純損失(△)		△821 △7.7

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第 1 四半期連結累計期間（自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日）の四半期連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、前年度の「四半期財務・業績の概況」において開示しておりますので記載を省略しております。

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第 1 四半期連結累計期間（自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日）

	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃 貸 事 業	そ の 他 の 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売上高(百万円)	5,374	2,909	2,144	584	410	11,423	(760)	10,662
営業費用(百万円)	5,559	2,970	2,071	351	396	11,349	(562)	10,787
営業利益又は 営業損失(△) (百万円)	△184	△61	72	232	14	73	(198)	△124

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。